

<h1>ほのぼの</h1>	第10号	発行
	平成17年 7月	神戸市須磨区戎町1-2-3 TEL 078-732-5209 信行寺門信徒会

ご旧跡めぐり

住職 米田 睦雄

今年の研修旅行は、久しぶりに
関東の稲田の草庵など、親鸞聖人
のご旧跡のお参りでした。何年か
前にも、お参りさせていただいて
おりますが、新たな思いで、聖人
が歩まれたであろう大地を力強く
踏ませていただきました。

この研修旅行は、昭和六十年か
ら始まっております。昭和五十五
年に結成された「信行寺仏教壮年
会」で、親鸞聖人の生涯をたどろ
うということになりました。

京都日野の誕生院をかわきりに、
比叡山、越後、信州、関東、三河
と回り京都にもどりました。

それから更に、蓮如上人のご旧
跡、法然上人や妙好人のご旧跡を
たずねてまいりました。

大震災の影響で行かれなかった
年もありますが、古きをたずねて、
新しきを知ることは、先人の跡を
単に偲ぶことではありません。先
人の求めたものを確認し、あゆむ
ことです。

- 昭60年6月 日野誕生院と比叡山延暦寺
- " 61年7月 居多ヶ浜と越後七不思議の旧跡
- " 62年7月 三室戸寺と三千院
- " 63年8月 関東の旧跡と鬼怒川温泉
- 平1年9月 筑波山と関東の旧跡
- " 2年7月 三河の旧跡 (妙好人おその同行)
- " 3年6月 蓮如上人の足跡 (等正寺 他)
- " 4年7月 蓮如上人の足跡 (井波方面)
- " 5年5月 薩摩かくれ念仏の遺跡 (鹿児島別院)
- " 6年6月 蓮如上人の足跡 (奈良)
- " 9年6月 法然上人の足跡 (四国の勝覚寺 妙好人 庄松同行)
- " 13年4月 蓮如上人の足跡 (近江、北陸、吉崎別院など)
- " 14年2月 名古屋別院報恩講と高田派専修寺
- " 14年4月 蓮如上人の足跡 (北陸、砺波、加賀方面)
- " 15年5月 安芸の宮島と浄土真宗ゆかりの寺院
- " 16年4月 飛騨高山と古川の三寺まいり (同行 中村久子さん)
- " 17年4月 親鸞聖人関東旧跡 (稲田の草庵など)



これまで訪ねたご旧跡

親鸞聖人旧跡巡拝旅行

信行寺様の旅行には、何度か参加させて頂いて頂いて此の度は、十七年振りに関東方面旧跡巡拝との事で、私は特に西念寺稻田のご草庵と枕石寺は、常日頃よりご縁があればと思っていました。前日(二十五日)は、一日中JR脱線事故のニュースで気分が重かったのですが、目的が参拝旅行でしたので、辛い中にも少し心が安らいでいました。諸行無常、白骨の御文章が一段と深く心に沁み込んでおります。

旅行中はお名前も充分に分らないままでしたが、和やかにお話も出来てお同朋、お同行さんとは本当に有難いなあーと感じました。各々のお寺の本堂で重誓偈のお勤めの後、寺院にまつわる由来や御法話を聴聞し、寺宝等も拝見させて頂き、改めて親鸞様の御苦勞を深く深くお偲び申し上げ現在お念仏の輪が広められている事を嬉しく思いますと同時に末代までも御教えが伝道されますよう念願致します。特に願入寺は、十七年前を思い出して懐かしかったです。

浅草の仲見世をブラブラと散策してアレヤコレヤとお土産を手に無事帰神出来ました事、皆々様に厚く感謝致

しております。今後も出来る限り参加させて頂けますように、お聴聞と共に楽しみにしております。有難うございました。

(神明組光源寺門徒 米谷陽子)

合掌



(親鸞聖人法難の遺跡) 板敷山・大覚寺にて

大谷本廟総追悼法要に参加して

遅かった桜の花も終わりがけの四月十七日、信行寺門



信徒の有志総勢二十三名で、大谷本廟総追悼法要にお参りさせていただきました。

当日は、当寺の住職が法話をなさることもあり、サポートを兼ねて、マイクロバスを仕立てての日帰り旅行でした。暖かく、抜けるような晴天のもと、日曜の行楽日にもかかわらず、道中は停滞もなくスムーズに京都に着きました。

まずは京都駅前の「泉仙」で京都の昼食。きな粉をまぶし

たわらび餅でお薄を一服。引き出しのついた行燈に似た粋な重箱に旬の春野菜を使った季節料理、手のこんだ古都の春を満喫。「道明寺蒸し」という珍しい桜餅を模した吸い物も、京都ならではの味わえぬ逸品でした。

大谷本廟で、一行は無量壽堂にお参り、先立つた人を偲んで貴重な出合いをさせていただきました。

本廟の御堂の前には大きなテントが設えられ、はみだすばかりに集まった参詣の人々、仏教讃歌のコーラスの後、当寺の住職の法話がありました。大勢の聴衆を前に、ほろりと涙を催す親子の情愛を語る住職の広島弁。水を打ったように静かに聞き入っていました。この日に相応しい感動的なお話でした。「自分一人で生きているのではない、目に見える人、目に見えない人、多くの人やものに支えられて今日の自分がある」、この日のようなご縁をいただいた場でお聞かせいただくと、実感として強く胸を打つものです。

更に、帰途に寄った原谷苑の枝垂れ桜の見事なこと。全山満開の花の饗宴でした。今年の桜の開花が遅れていたのが幸いして、ちょうど最良の日に巡り会ったようです。

(森本 勝)

|| 花まつりに寄せて ||

「子供たちとはなまつり」

副住職 米田 恵悟



たい。また私自身に息子や娘ができてからは、よりいっそう子供たちを取り巻く環境や未来について考えさせら

毎年四月

八日(おしゃ

か様のお誕

生日)にあ

わせて子供

たちに参加

してもらえ

るようなイ

ベントを考

えてきまし

た。年に一

度でも子供

たちにお寺

での楽しく

心に残るよ

うな経験を

してもらい

れることが多くなりました。本当に大切なこと、子供に伝えていくべきことはなにか。以前、私がネパールを旅行したときに撮った写真のスライドを見てもらいながら、保護者の皆様も交えて話をさせてもらいました。

皆様のご家庭ではどのようにお子様の心を育む実践をされているでしょうか。体を育てることばかりに気をとられていないでしょうか。ありあまるオモチャやテレビゲーム、便利な生活が「あたりまえ」という感覚になつてしまった日本の子供たちに、同じ地球の上に住む他の国の人々の中には、オモチャもなければゲームもみたくともない、電気も水道も通っていない家に住んでいるひと、靴もはけずに裸足で遊びまわっている子もいることを知ってほしかった。子供にとつての幸せとはなんだろうか。オモチャや物を買うことだろうか。心を育むということであれば、かえって良くない結果をもたらすこともあります。「あたりまえ」に使えない貴重な水。だからこそカラカラに乾いた喉をうるおしてくれる水のありがたさを感じる心が生まれる。物はなくても満面の笑みで、きらきらとした目を輝かして私を歓迎してくれたネパールの人たち。私は「あつたかい感動」を幾度となく経験しました。愛情のこもった人と人とのコミュニケーション。本当に感動できる柔らかな心。テレビやゲームなどではない人と人とのふれあい。ぜひ家庭でも実践したいものです。

「報恩まつり」

五月二十四日、第三十二回、親鸞聖人報恩まつりが開催されました。

第一部式典音楽法要の聖歌隊に今年も、信行寺雅会みやびが参加させていただきました。新しく入会された柳田さんと田中さんが加わって例年どおり心に沁みる仏教讃歌でした。

第二部は京都光華女子大学教授 太田清史師の記念講演がありました。

師は「報恩まつり」の「まつり」と言う言葉が八百年続く親鸞聖人への途切れる事のない報恩とお誕生の喜びを表すにふさわしい言葉で「いいですねー」と言われたのが印象的でした。

臨床心理士としての立場から大変勉強になる内容の講演でした。

第三部清興は、愛に包まれた一匹の盲導犬の感動の物語「クイール」の映画が上映され閉会となりました。

親鸞聖人のご苦勞、ご遺徳を偲ばせていただきつつ、聖人のみ跡を慕いお念仏の生活をさせていただいている有難さをかみしめる一日でした。



(中川)

茨木市より

善照寺の皆様が参拝

入梅とはいえ、真夏のようなお暑い中、去る6月20日、遠路茨木市より善照寺の仏教婦人会の皆様28名が信行寺にお参りに来られました。



本堂でおつとめと住職の法話。親鸞聖人のみ教えを頂く者同志親しみを感じ御同朋としてなごやかな雰囲気でした。

震災復興の神戸の町を見学してお帰りになりました。

お念仏という見えない糸で大勢の方々と心通うものを感じとりました。

(泉井)

副住職の長男「空城」^{そらぎ}入学

米田悦子

この春、おかげさまで長男空城が東須磨小学校に入学いたしました。少し大きめのスーツに身をつつんだ空城は、「学校ってどんな所だろう」と期待に胸膨らませて入学式に向かいました。



入学式では、6年生と手をつないで入場してくるのですが、その1年生の姿は、本当に微笑ましいのです。赤ちゃんとして生まれた我が子の今日までの日々が重なり、涙ぐんでしまいました。

幼い頃から門信徒の皆さまに可愛がってもらいこころで成長したことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

あれから3ヶ月。空城は、毎日嬉しそうに登校しております。ランドセルもすっかり馴染んで軽々としよっている姿に、親として手を合わさずにはられない思いがいたします。門信徒のみなさん、これからも空城のことよろしくご指導お願いいたします。

信行寺次男の子 初参り^{はつまい}する

米田明子

平成十七年四月二十七日に長男が誕生しました。一姫二太郎ということもあり、主人共々非常に喜んでおります。

名前をどうするか、締め切りの日まで悩みましたが、主人の正樹から正という一字をとり、正悟（しょうご）と名づけました。正しいことを信じて、人に流されることなく正しい道を考え歩んでほしいと思います。

六月五日には、沢山の皆様に見守られ、「初参式」を行なうことができました。この子も、主人



のように門信徒の皆様と沢山の関わりを持たせていただき、元気に成長していただけたらと思います。今後とも親子ともどもよろしく申し上げます。

趣味のコーナー

いけ花展によせて

長井輝葉



五月上旬西宮で同門流派の後輩徳山紅葉いけ花社中展がありました。花暦五十年記念と云うことで前々から友情出瓶の要請を受けていたのですが体調に自信のもてない年令でもあり如何なものかと案じておりました。

しかし会主の姉上との二人席でも



ありとにかく精一杯頑張り無事に活け上げることが出来ました。花材は新緑の季節に合わせてやしおつつじを選びました。中央の花はデルフィニュームです。花展会場へは三日間の間に当寺からも坊守様他何人かの方々に御来場を賜り華を添えて頂きました。感謝

ご案内コーナー

◎第二十三回夏期特別法座

例年どおり「夏期特別法座」を左記の通り開催します。
初めての方も、お気軽にご参加下さい。お待ちしております。

◎日時 八月十七日（水）

十一時～十五時（十時より受付）

◎場所 「シーパル須磨」須磨水族園西へ200m

神戸市須磨区須磨浦通一―一―

☎〇七八―七三二―六八一五

◎法話 信行寺 米田睦雄住職

◎参加費 四、〇〇〇円（昼食代を含みます）

◎申込み 電話でもFAXでも受け付けます。

信行寺 ☎〇七八―七三二―五〇二九

FAX〇七八―七三二―三二六六

参加費は当日でも結構です。

◎信行寺では、一月十六日阪神淡路大震災十周年追悼法要が執行され、亡くなられた方々を追悼致しました。この模様は「ほのぼの」9号で特集して、お届けしました。

◎四月二十四日には、「門信徒会第3回総会」を開催しました。この総会で、今年度の事業計画が次のとおり定まりましたのでお知らせします。

- ① 寺報の発行―年3回（七月・十一月・三月）発行
- ② 旧跡参拝旅行―四月二十六日～二十七日関東方面へ
- ③ 夏期特別法座―八月十七日、シーパル須磨で開催
- ④ 本山念仏奉仕団―十月六日～七日に参加

編集後記

「ほのぼの」の編集委員は、昨年四月から新しいメンバーになり、昨年度は計画どおり三回発行しました。今年度も三回発行し、みなさまに愛される寺報になりますよう頑張りたいと思いますので気軽にご投稿をお待ちしています。

編集委員一同